



「インフルエンザ」について

【インフルエンザとは・・・】

インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。例年、12月から3月頃に流行すると言われています。

A型・B型があります。



【主な症状】

38℃の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状は突然現れます。あわせて、普通の風邪のようなどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。

しかし、中には微熱であり、鼻汁・咳がほとんどない方もいました。

【診断方法】

鼻汁の中にインフルエンザウイルスがいるかどうか、綿棒で鼻汁をとって調べます。10分程度で結果が出ますが、発症直後に検査した場合などはウイルスの量が少ないため、感染していても陰性になる場合があります。そのため、**発症後12~24時間経過**していないと判断がつかない場合があります

【治療方法】

- ・内服（タミフル）
 - ・1回吸入（イナビル）
 - ・1日2回 5日間吸入（リレンザ）
 - ・点滴（ラピアクタ）
- があります。

☆診断後に医師と相談して決定します。

発症後48時間以上経過してしまうと薬の効果が低下すると言われていますので、発症後48時間以内には受診し、治療を受けましょう。

【どうやってうつるの？うつらないためには？】

インフルエンザを発症する前日から発症後3~7日程度は感染力があると言われています。インフルエンザ患者の咳・くしゃみなどとともウイルスが小さな飛沫（しぶき）となって空気中に飛び散りうつります。（飛沫はおおよそ2m飛ぶと言われています。）

うつらないためには、人込みを避け、外出時にはマスクを着用し、帰ってきたらうがい・手洗いをしましょう。栄養と休息を十分にとり、室内の加湿と換気も大切です。

【登校・登園について】

出席停止期間は「**発症した後5日間を経過し、かつ解熱後2日間（幼児は3日間）を経過するまで**」と言われています。インフルエンザ陽性の診断を受けた方には説明用紙をお渡ししていますので参照ください。

幼稚園・保育園など登園許可証が必要な場合は用紙を持ってきていただければ記入しますので、通っている園に確認してください。



今月の絵本 『きつねのおきゃくさま』

人間のなかには、善と悪が存在します。登場するきつねさんが、それを見事に証明してくれます。

自分を信じてくれる者のためなら、
命を落とせるんだなあ。

きっと幸せな気持ちで
あの世へいけたんだろうなあ。

子ども達に読み聞かせすると、なんと読んで最後で声がつまって涙してしまう一冊です。これぞ、あまんきみこさんの死の世界です。



あまんきみこ・ぶん
二俣英五郎・え

おしらせ

今月はさっぽろ雪まつりやソチオリンピックがありますね。冬、真っ只中(ー_ー)!!

インフルエンザが流行ってきました。みなさん、気を付けてくださいね(^_^)!!



次回のテーマは「ウイルス性胃腸炎について」の予定です。

☆☆おたのしみに☆☆